

障がい福祉瓦版

発達障がい



■問い合わせ先 市障がい児者相談支援センター ☎(37)9970

発達障がいとは

脳の働きの違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴があります。原因は明らかになっていませんが、生まれつきのものであり、保護者の育て方や本人の努力不足が原因で起こるものではありません。

発達障がいの主な種類と配慮ポイント

☆発達障がいは、大きく3つのタイプに分けられます。

種類	自閉症スペクトラム (ASD)	注意欠如・多動症 (ADHD)	限局性学習症 (SLD)
	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションが苦手 パターン化した行動、こだわり 感覚が過敏または鈍い 	<ul style="list-style-type: none"> 集中するのが苦手 じっとしてられない 考えるよりも先に動く 	<ul style="list-style-type: none"> 読み、書き、計算など一部の能力に困難を示す 知的な発達には問題がないことが多い
配慮ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 説明は短く、具体的に 見て分かる空間に整える できる行動に着目する 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールを決める できるだけ刺激を少なくする 何かできた時は、すぐにほめる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習方法、教材の工夫 習得するまでの時間を確保する

☆同じ障がい名でも特性の現れ方が違ったり、いくつかの発達障がいを併せ持ったりすることもあります。

➢このほか、トゥレット症候群や吃音(症)、発達性協調運動障がいなども発達障がいに含まれます。

二次障がいの予防と対策

発達障がいは見た目では分かりづらく、「どうしてできないのか」などと周囲から責められ、自己肯定感が低くなってしまうことがあります。そのような状態が続くと、二次的な障がいとして、頭痛、腹痛などの身体症状や、イライラ、うつなどの精神症状が生じて、不登校やひきこもり、暴力などにつながる場合もあります。

大切なのは、できるだけ早い段階で本人が抱えている困りごとに気づき、理解することです。個性に応じて、上記の「配慮ポイント」に示したような生活環境を整えることで、困りごとを減らし、持っている力を発揮しやすくなります。対人関係が苦手でも、記憶や計算、音楽、美術など、特定の分野で才能を開花させる方もいます。

相談窓口

ご本人やご家族、関係機関の方の相談先として、下記の窓口がありますのでご活用ください。

機関名	相談対応日時	住所	電話番号
市障がい児者相談支援センター	月～金曜日 (祝日・年末年始を除く)	笹原26	(37)9970
県発達障害者支援センター ふおーゆう	午前8時30分～ 午後5時15分	宇都宮市 駒生町3337-1	028(623)6111



↑ふおーゆう
ホームページ